

COVID-19の第2波に備えた透析施設での感染対策の徹底について(お願い)

公益社団法人 日本透析医会

新型コロナウイルス感染対策ワーキンググループ

委員長 菊地 勘

平素より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。

東京都内では毎日100人以上の新規感染者が発生しており、本日(7月9日)は220人以上の新規感染が報告されております。これは、第2波の始まりと考えられる状況で、第1波と同様に徐々に全国へ広がる可能性があります。(下図「全国の新規感染者数の推移」を参照)

平時より透析施設では穿刺や返血などの手技は、ディスポーザブルガウンまたはプラスチックエプロン、サージカルマスク、ゴーグルあるいはフェイスシールドを着用すること、透析室での器具の清掃および環境表面の消毒には、0.05~0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキソ一硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかを使用すること、が推奨されています。

透析室では平時の感染対策を遵守することが、COVID-19への感染対策にも繋がります。また、患者へは、発熱や咳などの症状がある場合は透析施設へ連絡して来院すること、常時マスクを着用することなどの協力を依頼する必要があります。

各施設におかれましては、感染まん延期となる前に、今一度、感染対策の見直しおよび徹底をよろしくお願いいたします。

全国における新規感染者数の推移(2020年7/8時点)

